第六巻

まおゆう

Archenemy and Hero

魔王勇者

―この我のものとなれ、勇者よ！「断る！」―

原作：石田あきら
漫画：橙乃ままれ
（マイクロマガジン社 刊）

Kadokawa Comics A

まおゆう 魔王勇者

Kadokawa Comics A

まおゆう 魔王勇者

―この我のものとなれ、勇者よ！「断る！」―

第六巻

Cover
Mido Akira
Author
Ramen Hanaoka

原作 石田あきら
漫画 橙乃ままれ
（マイクロマガジン社 刊）

KCA3364-9
角川書店

ISBN978-4-04-120577-8
C0979 ¥580E
定価：本体580円（税別） 発行：角川書店

まおゆう 魔王勇者
―この我のものとなれ、勇者よ！「断る！」―
第六巻

まおゆう

Archenemy and Hero 魔王勇者

——「この我のものとなれ、勇者よ」「断る！」——

第六巻

漫画原作
石田あきら 橙乃ままれ
キャラクター原案 水玉菓之丞・toi8

Kadokawa Comics A

Kadokawa Comics A
まおゆう 魔王勇者
「この我のものとなれ、勇者よ」「断る？」
第六巻
Comic Ishida Akira
Author Touno Mamare
漫画 石田あきら
原作 橙乃ままれ
キャラクター原案 水玉菓之丞・toi8

KCA264-9
角川書店

『魔界という別世界』は
存在しない
まおゆう
魔王勇者
第二十話

魔界が…
人間界の地下に…？

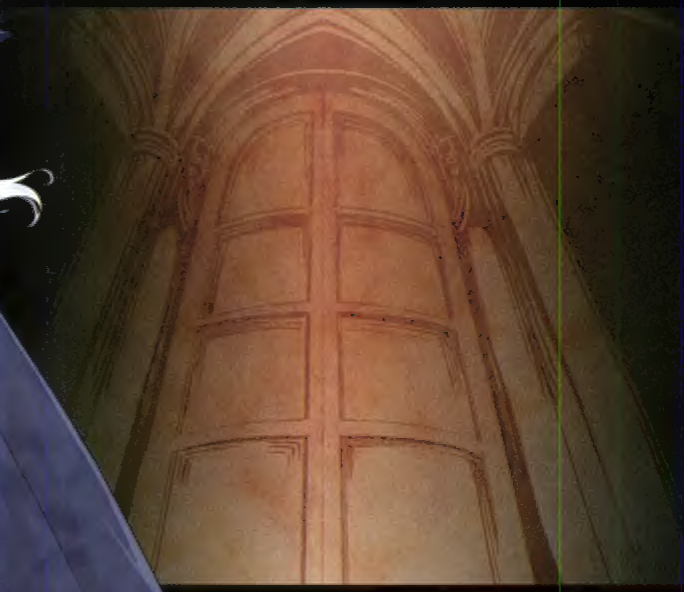
漫画 原作
石田あきら 橙乃ままれ
キャラクター原案 水玉螢之丞・toi8
Archenemy and Hero
魔王勇者
――「この我のものとなれ、勇者よ」「断る！」――
Archenemy and Hero
20th chapter
第二十話
大地のために！

まおゆう
魔王勇者

第六巻

漫画 石田あきら　原作 橙乃ままれ
キャラクター原案 水玉猫之丞・toi8

第二十話 Archenemy and Hero 20th chapter 001
大地のために!
第二十一話 Archenemy and Hero 21st chapter 057
『ありがとう』そう言われたでござる
第二十二話 Archenemy and Hero 22nd chapter 109
待たせたな――私の勇者



まおゆう魔王勇者

「この我のものとなれ、勇者よ」「断る!」

Archenemy and Hero

第六巻

漫画 原作
石田あきら 橙乃ままれ

キャラクター原案
水玉雹之丞・toi8

コラムページ
竹之内大輔、大野将平（レッカ社）
野村昌隆

人間と魔族との戦いが続くなか、魔王城で出会った「魔王」と「勇者」。争いに真の終わりをもたらそうと手を結んだ二人は、人間界の「冬越し村」を拠点に活動を開始した。それから2年以上の月日が流れ、「紅の学士」を名乗る魔王、そして彼女を支える勇者や「女騎士」たちの働きにより、魔王がもたらした知識や技術は、「冬の国」をはじめとする「南部諸王国」に広く浸透。人々の生活は改善され、南

部諸王国は着実に力をつけていった。

しかし、これを快く思わない「聖王国」と「中央教会」が動き始め、冬の国に試練が訪れる。「第二次極光島奪還作戦」で魔王や勇者たちと関係を深めた冬の国の「冬寂王」は、紅の学士に対する異端告発をきっかけに中央からの自立を決意。同調する氷の国や鉄の国と通商同盟を締結し、独自の道を歩み始めるなか、今度はこれら同盟三か国に対して、中央よりやってきた使者から「教会からの破門」と「宣戦布告」が通達されるのだった。

これに対して冬寂王は、戦いの開始を引き延ばすことで降雪を待ち、戦いを回避する作戦に出る。ところが、冬寂王と不仲だった「白夜王」が「片目司令官」に焚きつけら

れて鉄の国への攻撃を開始。さらに、南海から蒼魔族が侵攻してくるという知らせが入る。それに対し、蒼魔族を食い止めようと単身出撃した勇者は、そこで行方不明になっていた「女魔法使い」と再会するのだった。

一方、「青年商人」のもとを訪れた「火竜公女」は、彼に塩の買い付けを依頼。これを受諾した青年商人は、彼女を伴って冬の国を訪れ、南部同盟諸国内の通行許可と極光島の租借、そして馬鈴薯の買い上げなどを申し入れた。それに対峙した「商人子弟」は、青年商人の言葉の裏にある意図を読み取ろうとするうち、ある結論に到達する。

青年商人は、なんと魔族との通商を始めるつもりだったのだ——。

魔王

魔族と人間の戦争を、真の意味で終わらせようと尽力する魔族の王。現在は魔王城の冥府宮にこもり、歴代魔王たちの魂と対峙している。

メイド長

魔王が幼いころから世話をしていた側近。現在は魔王とともに魔界へ戻り、冥府宮にこもった魔王が無事に戻るのを待っている。

青年商人

人間界で最大の経済団体「同盟」の幹部。小麦を買い占めたり火竜公女と冬の国の橋渡しをするなど、独自の行動を展開中。

火竜公女

火竜族を束ねる火竜大公の娘。人間と魔族が共存する開門都市の代表として、塩を求めて青年商人のもとを訪れた。

軍人子弟

魔王のもとでほかの子弟とともに学んでいた、鉄の国出身の軍人の子息。現在は故郷に戻って、国境警備隊の指揮を執っている。

商人子弟

魔王のもとで学んだ商人一家の三男坊。魔王の推薦で冬の国を訪れたところ財務長に抜擢され、日々激務をこなしている。

メイド姉

元農奴のメイド。魔王の館で働きつつ子弟たちとともに学んでいた。現在は、魔界に帰っている魔王の影武者を務めている。

メイド妹

姉とともに、魔王の館でメイドとして働く少女。食いしん坊が高じて料理の道に目覚めた。現在は、姉と鉄の国を訪れている。

勇者

魔王とともに歩むことを決意した青年。魔界に戻っている魔王の留守を預かり、彼女の夢を実現するため南部諸王国や魔界を奔走している。

女騎士

かつて勇者と旅をしていた仲間のひとり。魔王の正体を知ったうえで勇者たちに協力。さらに冬の国で軍の指揮も執っている。

執事

かつて勇者と旅をしていた仲間のひとりで、弓の名手でもある。執事として若い冬寂王を支えつつ、諜報活動もこなす。

冬寂王

冬の国の若き王。紅の学士（魔王）に対する異端審問を機に中央と決別。氷の国や鉄の国と同盟を結び、独自の道を模索する。

片目司令官

聖鍵遠征軍の元司令官。開門都市から撤退した際に魔族と遭遇したことを冬寂王の仕業と考え、深く恨んでいる。

女魔法使い

女騎士と同じく、勇者と旅をしていた仲間のひとり。消息不明だったが、魔族の侵攻を止めようとする勇者の前に現われた。

傭兵隊長

傭兵部隊の隊長。中央のとある貴族に雇われており、部下たちを引き連れて南部諸王国への討伐軍に参加している。

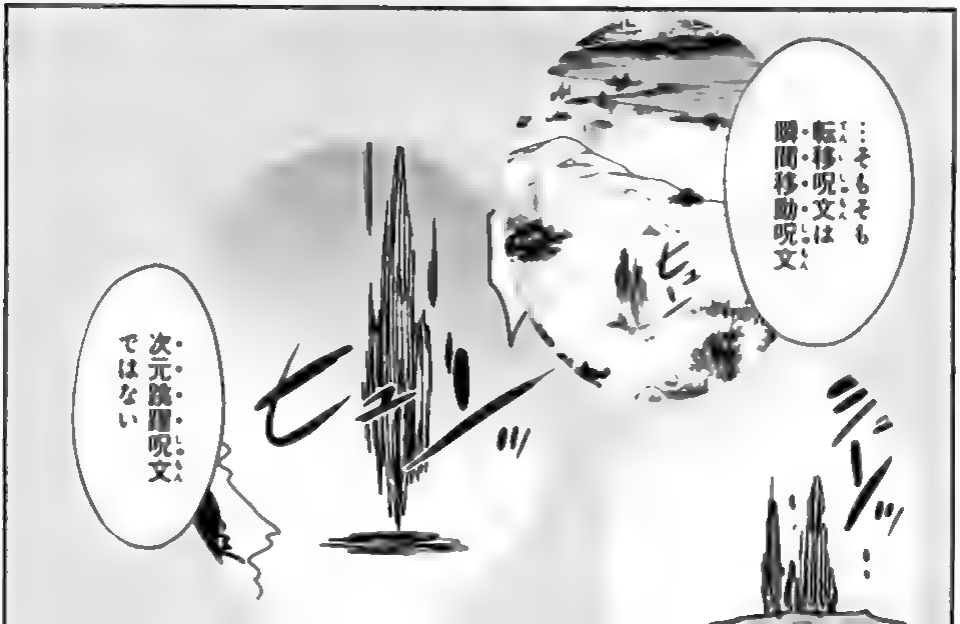
白夜王

白夜の国の王。冬寂王との不和から南部諸王国のなかで浮いた存在となってしまい、そのいら立ちから冬寂王を逆恨みしている。

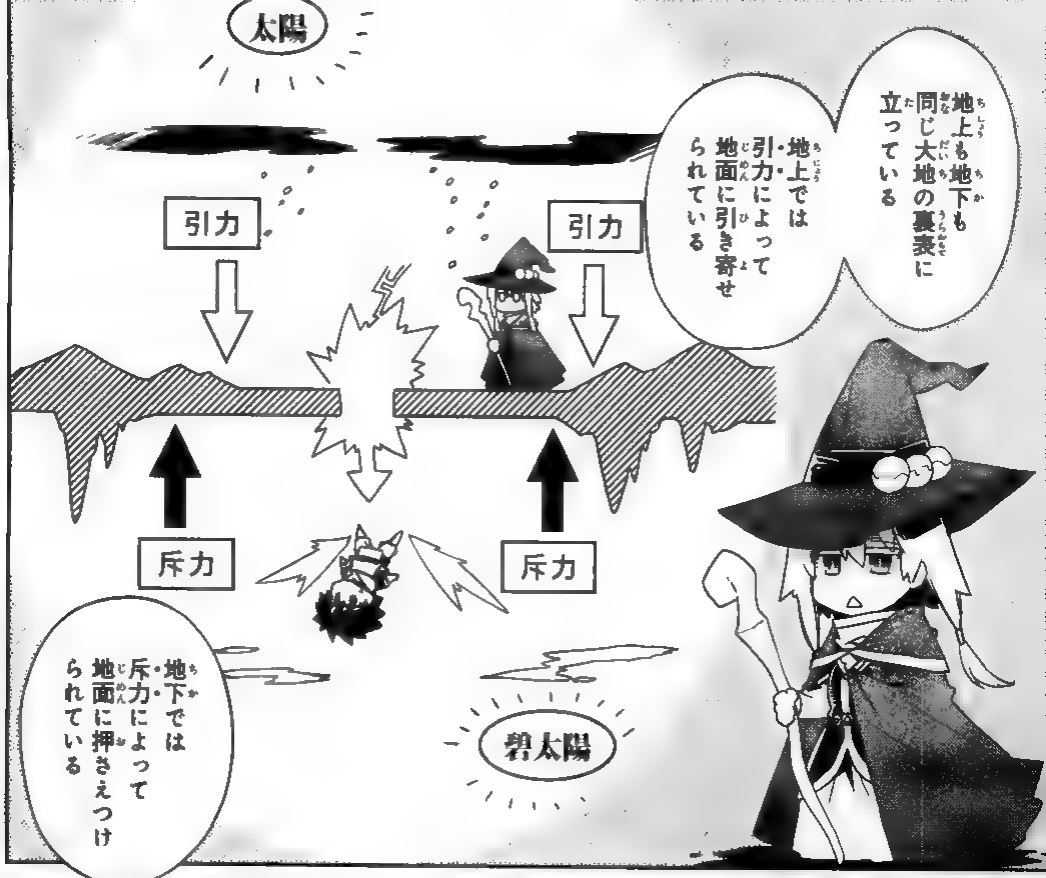
碧色の太陽…
赤茶けた大地…
なぜか高く飛べなくなる飛行呪……

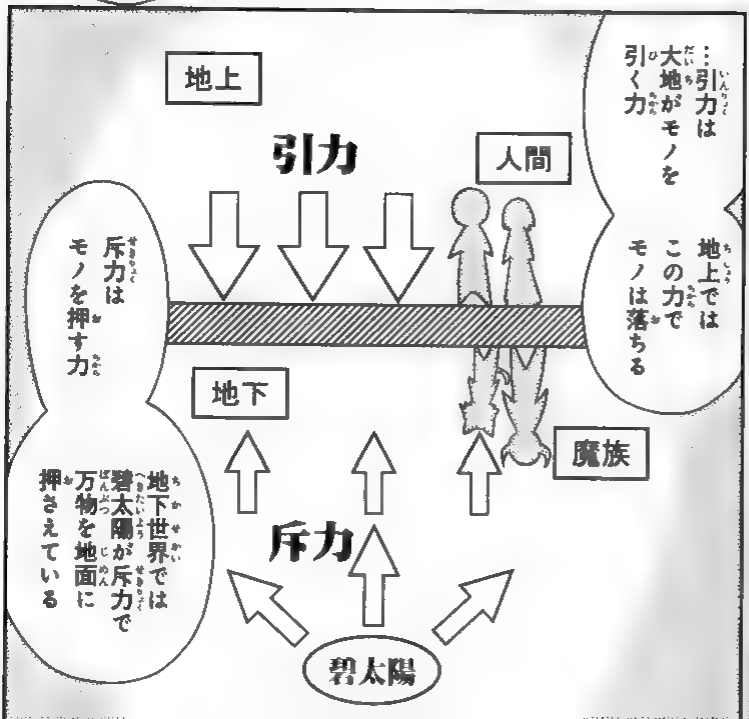
…たしかにここは魔界
俺たちが そう呼んでいた場所だ

人間界の地下…!
地面の下に異界があったのか!?
そう


…そもそも転移呪文は瞬間移動呪文
次元跳躍呪文ではない

つまり…
人間界の大地は
魔界…地下世界の
天井になるのか？
ゲートをぶち抜いて
俺はそこを
越えてきた…？
だけど
おかしい
じゃないか
今 抜けてきた
土煙は
地下世界の地面から
あがっているぞ？
そう
違う


太陽
地上も地下も同じ大地の裏表に立っている
地上では引力によって地面に引き寄せられている
引力
引力
斥力
斥力
地下では斥力によって地面に押さえつけられている
碧太陽


地上
引力
人間
：引力は大地がモノを引く力
地上ではこの力でモノは落ちる
斥力はモノを押す力
地下
魔族
斥力
地下世界では碧太陽が斥力で万物を地面に押さえている
碧太陽

引力？
斥力？

それよりも
魔王のところへ
あ…
ああ
ゴオオオ
！
なんで飛行呪が不調になるんだ？
碧太陽に近づくほど斥力が強くなる
だから高く飛ぶことは不可能…
ゴオオオ
!?

なんかヘンな音がしたぞ
通信の距離限界
私が人間界の援護する
できるのか？
ピー
まかて
…
あ？
なんだって？
…お任せください このくそ童貞
なんでそんなセリフだけハッキリ聞こえる!?

……!!
頼んだ
了解
あのさ
来てくれて
ありがとうな
すげー助かった
…行ってきて
待ってる

久しぶりの
…地上
相変わらず
戦争の匂い
鉄の国
国境付近峠道

国境も
越えた！
今日
鉄の国の大地は
たっぷり血の供物を
受け取るだろう

伝令!!
伝令!!!
司令!
前方に敵兵を発見!
なんだと!?
ざわっ
夜明けとともに宣戦布告をする手はず
布告はまだ届いていないか届いたとしてもその直後のはずだ
ざわ
ざわ
数は不明
街道を封鎖している模様!
どよ…
ざわざわ
狼狽えるなぁ!

おそらくは
国境警備兵
多くて数百よ
鉄の国の主力は
中央との会戦に
赴いている
残る弱兵など
恐るるに足らぬわ
全軍
全速前進！
一気に
襲いかかり
蹴散らせ！

なんだ
あれは!?

見えた
あいつらか！

自分たちが掘った落とし穴に自分たちで勝手に落ちているのか？
はよ
はよ
鉄の国の兵士はバカなのか
一気に行くぞ！
おう！
さて
講義の時間でござる
こんな時に!?
敵は目の前ですよ！
我が師は教育を説いてござった
いつ いかなる時でも後続を育てなければ…と
これは伝統でござるよ
にはあ

騎馬のもつ意味とは
大きく3つあるで
ござる

第一に「高速移動」

これは戦場と戦場の間を
早く移動するという
ことでござるね

遠征などでは
重要な要素でござるが
今回のような場合は
あまり関係ござらん

第二は
その「機動力」でござる

これは
戦場において

敵の弱点に
敵が反応しきれない
うちに攻撃を加える
能力でござる

本質的に移動力と
機動力は別の意味合いを
もつでござるね

機動力は
敵の部隊に
隙が存在し

それを見抜くことができる
指揮官の下では
強力な武器になるでござる

この機動力に対抗するには
情報遮断と こちらの軍の
有機的連携が重要でござる

敵兵接近！
土埃が
見えます！
あと一分前後で
到着すると
思われます！
第三のポイント
今回のような戦闘で
もっとも恐ろしいのは
「突破力」でござる
そもそも
騎兵の攻撃力は
高くないのでござる
攻撃力の高い
両手用の武器が
使えないので
ござるから

にもかかわらず 騎兵が
これほどの戦闘能力を
発揮できるのは
まず
馬そのものに
戦闘能力があり
また 馬に乗るという
技術を習得できる階級が
裕福であり 戦闘訓練を
十分に得られるという事実
そして 高所からの
振り下ろし攻撃の
破壊力によるところが
大きいのでござる
これらに馬の
突破力が加わり
騎兵は瞠目に値する
高い突破力を
有するのでござるよ

なにを悠長なことを言っているんですか!?
その突破力がこちらに向かっているんですよ！
慌ててはいけないでござる

接触30秒前！
おのおの方！
鶯の用意を！

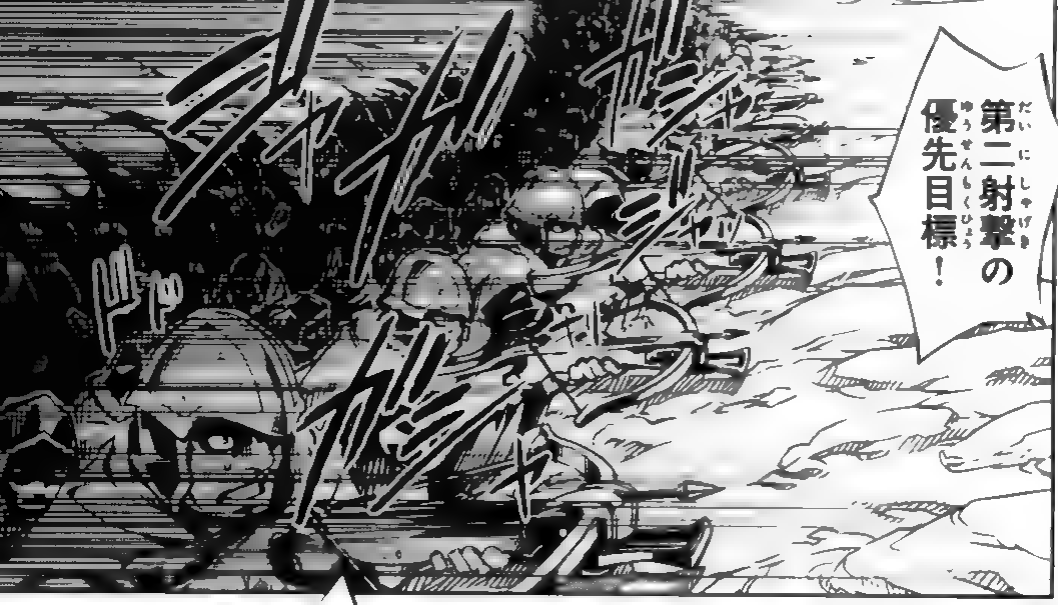
一番乗りはもらった！
!?
!?
なっ!?
のあ
くそッ
……？

何が…
起きているんだ

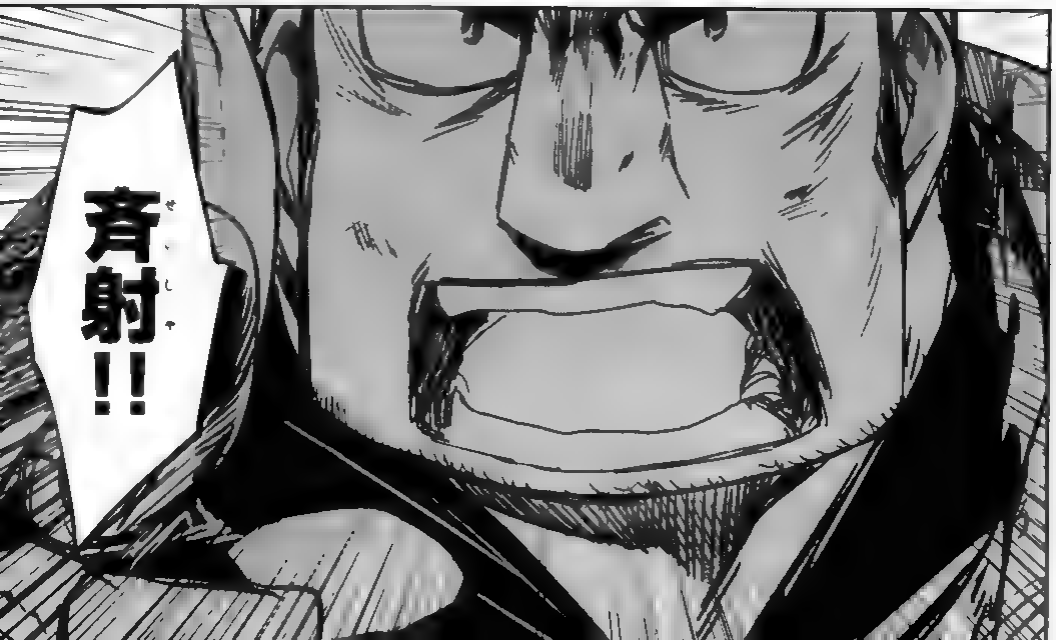
これは
…網？

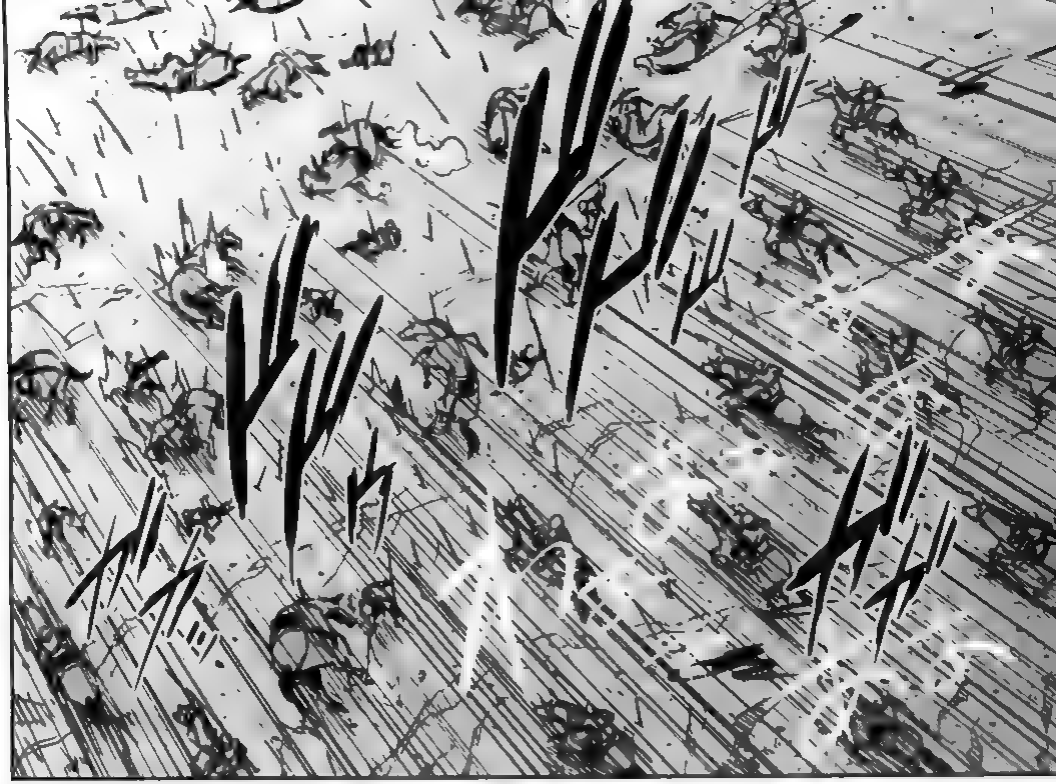
ヒュオオオオ
ドガアアアアアア
あ
ぐあ
……！

命中多数！
おおおお


第二射撃の優先目標！

馬を狙って混乱誘発！


斉射!!



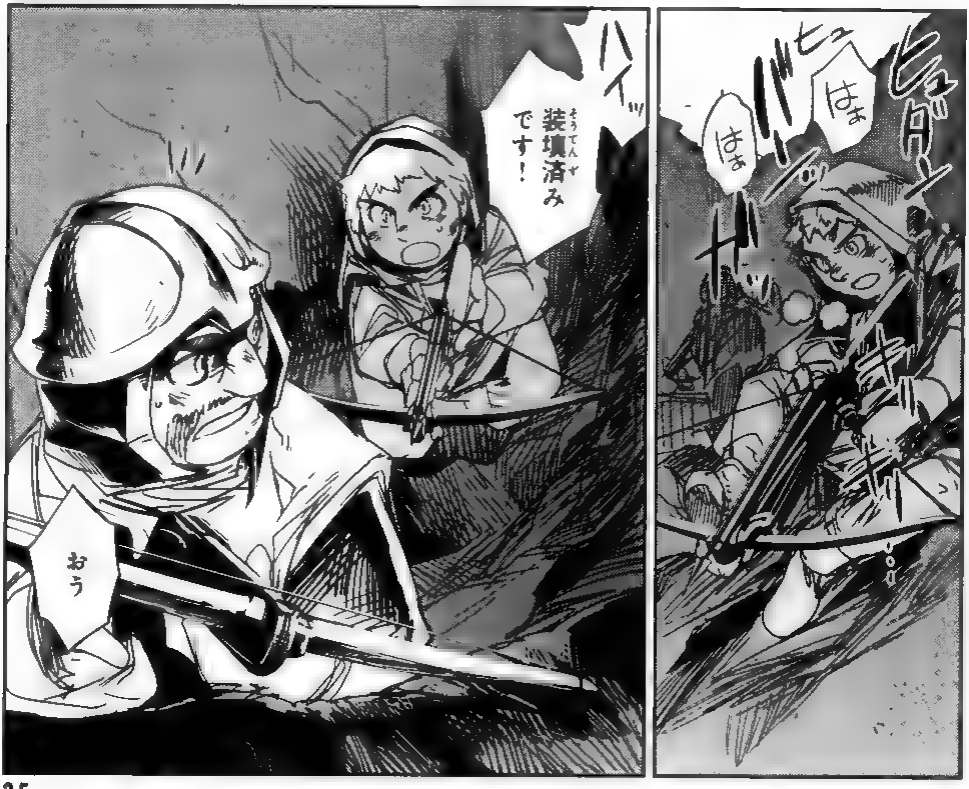
なぜ止まる！
何が起きているのだ!?
あぁぁぁぁ

速度を活かして突破せぬか！
敵は少数だ！
前進せよ！
全軍前進！
押し潰せ!!
何をしているのだっ！
チッ
司令！
前方には足止めの網が！
網!?

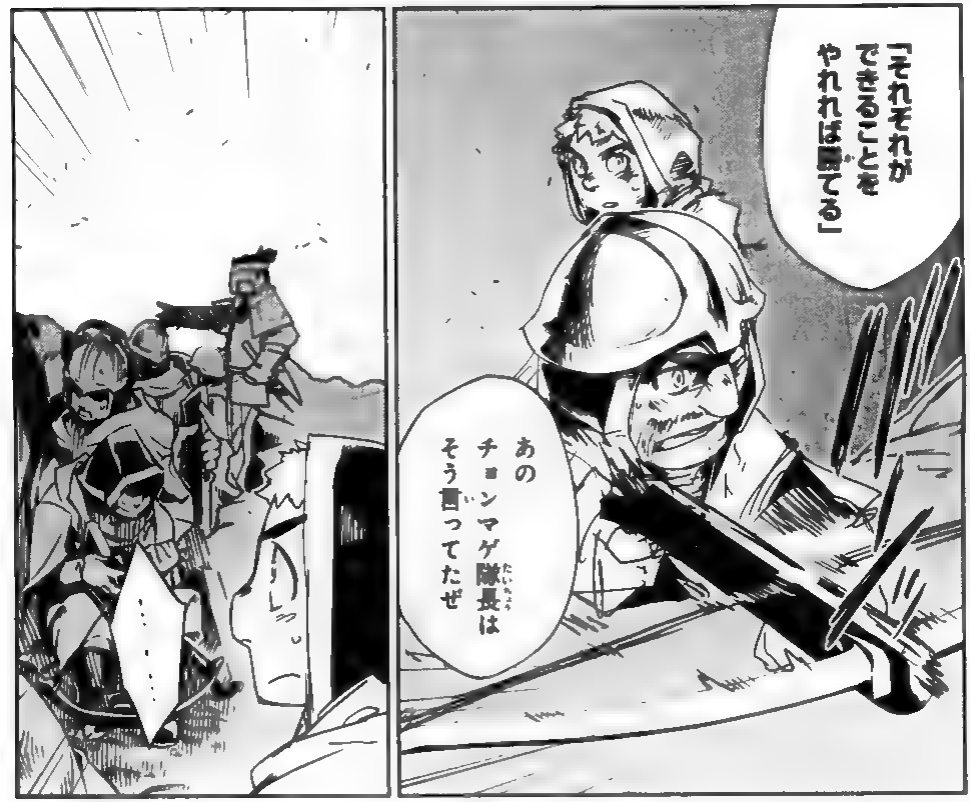
はっ！
鉄線で強化された
魚捕りの網が
街道に配置され
それが
馬に絡み付いて
足止めを！
そこに弩が
飛来しています！
姑息な真似を…

敵数は？
未確認です
なぜ わからぬ！
撃たれているのだろう!?
敵はどうやら
地面に穴か溝を
掘って 身を
隠しているらしく
視認が困難で…

行け!!
機動力を活かせ!
前線を押し上げるとともに 後方兵力を左右にまわすのだ!


ヒュ
はぁ
はぁ
ハイッ
装填済みです!
おう

助かるぜ兄ちゃん
いえ
おいらにはこれくらいしかできねぇから
それでいいのさ


「それぞれができることをやれれば勝てる」
あのチョンマゲ隊長はそう言ってたぜ
……

今 隠れているのは
「塹壕」と呼ぶでござる
は…
はい
また こういった
人工の地形全般を
「野戦陣地」などと
いうでござるね

もっとも我が師から
聞いたことで
他では聞いたことが
ござらんので 我が師の
思いついたことかも
しれないでござるが
敵の突破力を殺すための
手法のひとつとして
覚えるといいでござるよ
落馬多数！
前線は混乱
しています！

連続射撃！
装填係の即席兵は
あらかじめの割り振り通り
防御と装填に班を分けよ！
防御班は陣地に
侵入してきた敵兵の排除
及び 落下してきた
馬などを邪魔に
ならぬように移動！
射撃兵は右翼に
攻撃を集中！
おのおの方の
隙では
兵士ではないにも
かかわらず 勇気をもって
参加してくれた仲間が
弩に矢を装填して
くれているでござる
じっくり照準を合わせても
普段よりずっと早く
射撃できるでござる
仲間を
信ぜよ！
おおお
おおお
おお…

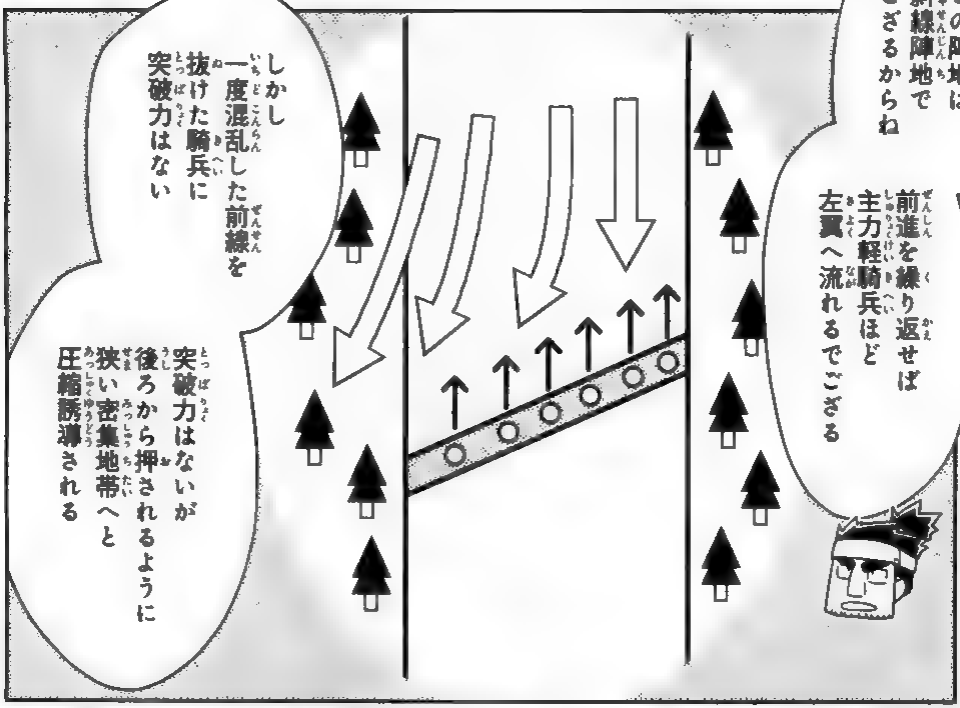
ええい
まだ突破できんのか！
殺せ！
殺すのだ！
前線を突破した兵士には金貨10枚を与えるぞ！
鉄の国の軟弱兵など木っ端微塵に打ち砕いてしまえ!!
膠着打破ッ！
動いたか!?
側面攻撃が効果をあらわしつつあります
左翼の防御は固いようですが右翼は手薄のもよう
まばらな林を抜ければ敵陣地の後背さえつけます！

よし！
全軍投入！
正面の落とし穴に
圧力を加えつつ
右翼重心で前進！

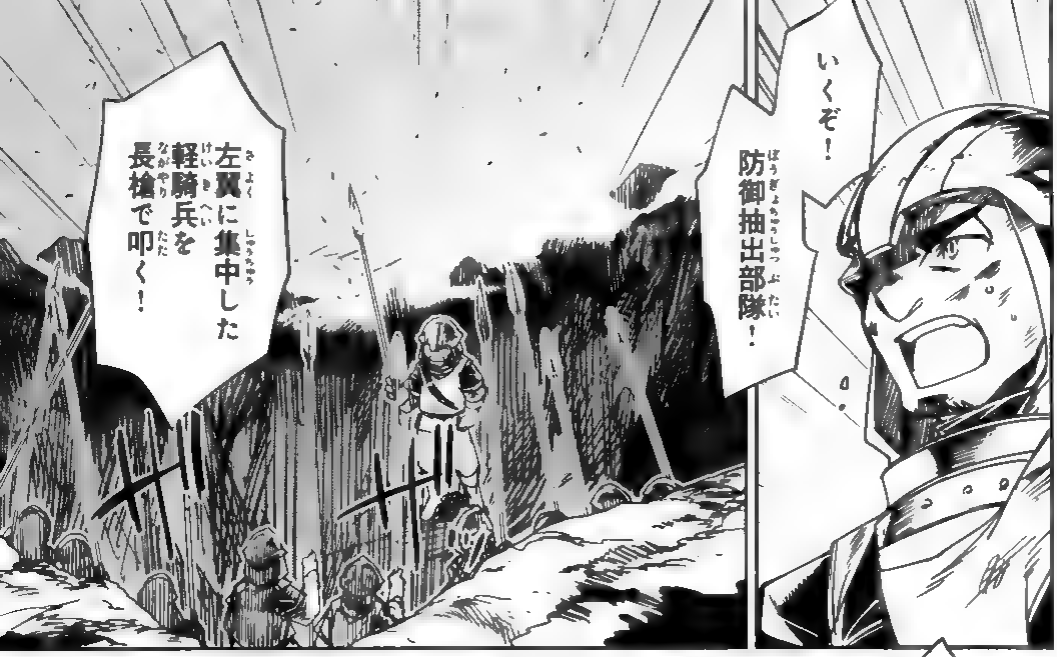
ゆくぞ！
白夜の勇猛を！

…？
右翼の前進が
思ったより
早い……
白夜軍の
突破力？
いや
吸い込まれる
ような――……
い
いかん!!

敵が左翼へ
流れ始めました
うむ
予定通りで
ござるね


この陣地は
斜線陣地で
ござるからね
前進を繰り返せば
主力軽騎兵ほど
左翼へ流れるでござる
しかし
一度混乱した前線を
抜けた騎兵に
突破力はない
突破力はないが
後ろから押されるように
狭い密集地帯へと
圧縮誘導される

さあ
仕上げでござる
少尉も拙者も
出番でござるよ
はい！


いくぞ！
防御抽出部隊！
左翼に集中した
軽騎兵を
長槍で叩く！

恐れるな！
敵の騎兵は
もはや勢いを
失った！
農民兵の諸君！
頭を低くして
槍を突き出せ！
馬を恐れるな！
相手の剣は
馬を降りない限り
塹壕の中の諸君には
届きはしないのだ！

いくぞ！
大地のために！
大地のために!!

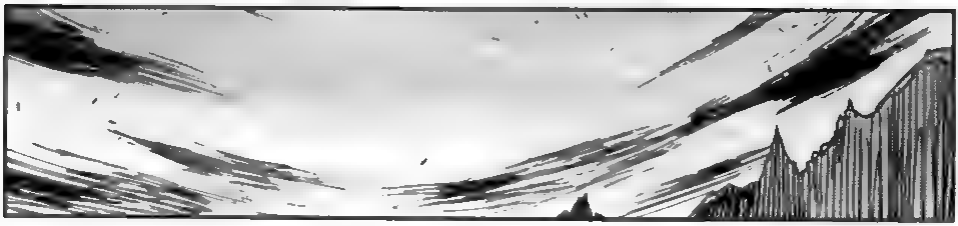
おのおの方！
今一度
弩の確認を！

左翼の長槍部隊
敵と接触！
敵前線膠着
崩壊の兆し！
ウム
どうやら右翼も
敵が退いた様子

敵は この陣地の攻略を
半ば以上断念し
左翼に向かって
流れているでござる！

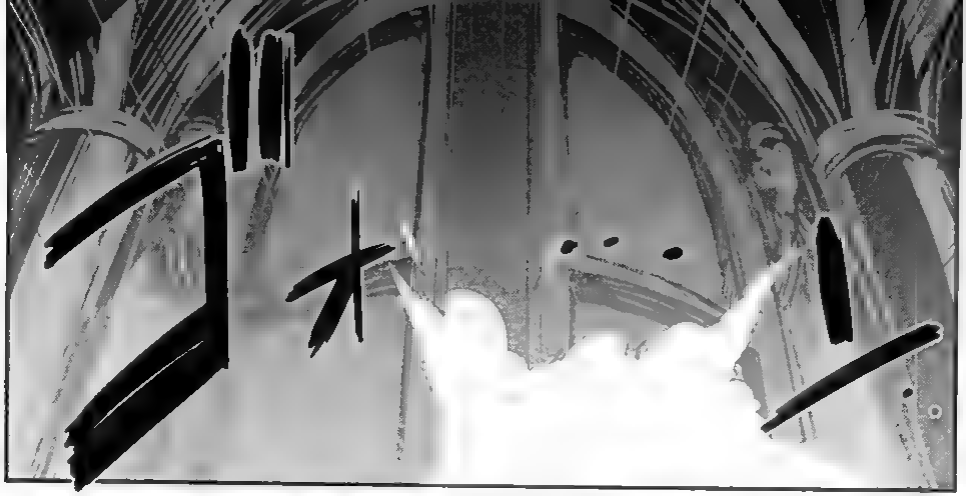
この好機を活かす！
——総攻撃の
時は来た！

敵が
潰走して
いきます……っ
やった
おおお
おおお
やったでござるよ
師匠……
師匠の教えで
皆を守れたで
ござる



魔界
魔王城

まおー様が
玄室に入ってから
もう一か月……
早く出てきて
ください
でないと――
!!
鳴動が…
止んだ？


ゴオ……ン

ゴオオオオオオ……

スススス……

——ああ
良い気分だ

まおー様…？
どうしたメイド長？
お前の主人のお帰りだぞ？
まったくヒドい目にあった
疲れた
腹も減った
もう大丈夫だ戻ろう
どこへ？

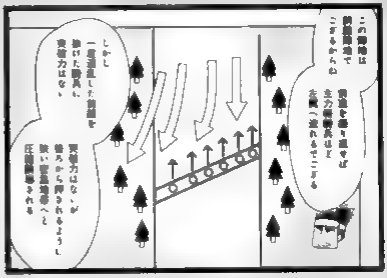
…決まっているだろう？
ゴゴゴゴゴゴ

――戦場だ

第十九回

戦争における戦術の変化

戦争で欠かせない陣形は効率よく戦うために考え出され軍事技術の進歩とともにさまざまな形に発展していった。



軍人子弟は斜線陣と塹壕戦術をミックスした陣地を構築。数に勝る敵の騎兵隊を撃退した。

陣形と技術の進歩による戦術の移り変わり

「人類の歴史は戦争の歴史」という言葉もあるように、人間は世界各地で絶えず抗争を繰り広げてきた。そんななか、戦いに参加する人員の孤立や混乱を抑え、目標を達成するための戦闘効率を高める目的で生まれたのが「陣形」である。

なかでも、紀元前14世紀ころに誕生し、古代ギリシアの都市国家で盛んに用いられた「ファランクス」が有名だ。ファランクスは、まず槍と盾を装備した重装歩兵が一列に並んで横隊を組み、これを何層かに重ねて長方形や正方形の陣形を組む。各兵士は左腕にくくりつけた盾で自身の左半身を守ると同時に、左側にいる味方兵士の右半身を防御。前の兵士が倒れた場合は即、後ろの兵士が進出して穴を埋める仕組みになっている。

本作に登場した「斜線陣」も、もともとはファランクスを元に生まれたものだ。通常、ファランクスは兵士の厚みを均等に配置し、敵に向かって一斉に前進する。しかし、斜線陣は陣の片翼を厚くした隊形を組み、これを先行させて集中攻撃を行なうことで敵陣を崩そうというものだった。

この戦法をさらに発展させたのが有名なアレクサンドロス大王で、長い槍を持たせた重装歩兵と重装騎兵を先行させて防御的に戦わせる一方、敵の注意がそれた隙に反対側の攻撃力を重視した騎兵と軽歩兵を突撃させて敵陣を崩す戦法だった。

このように、陣形は戦いのなかで徐々に改良されていき、時代が進んで銃器が登場したのちは、重装歩兵の周囲を銃を装備した歩兵で囲う、スペインのテルシオのような陣形も考案されている。

19世紀以降、すでに登場していた銃器の命中精度と威力が増大したことで、絶好の的にしかならないファランクスのような密集隊形は消えていく。そして、ナポレオンの時代を経て火砲の威力がさらに高まると、今度は塹壕を掘って射撃戦を行なうという戦い方が主流となっていった。

第二次世界大戦のころには、戦車や航空機が実用化されはじめる。陣地の構築や兵科の運用も含めた、より総合的な戦術が考案されるようになる。これにより、数台の戦車から部隊の配置にいたるまで、陣形はさまざまに形を変えつつ今日まで使われ続けている。

装填に時間がかかる射撃武器を分業して運用する方法は、歴史上の戦争でも使われたもの。

策略

敵陣への手はずはどうなっている？
付近の村から酒や食料を差し入れております
それで中央軍の貴族連中は宴会というわけか
はい
それと…馬の飼い葉に腐り水を
馬が死ぬようなものではありませんが
体調は悪くなるかと…
はい…
馬には悪いが…戦争で死ぬよりいいだろう
脇さとしてはやりたくないが
しかし手回しが早いですね
ああ
よっぽど性悪な奴が計画しているんだろうさ
へくしっ
鈴
大丈夫か？
いやあ
うら若き巨乳の乙女が私の噂をしているんでしょう
ニョホホホホホホホ

まおゆう
魔王勇者
第二十一話

…案外
この躰も悪くはない
ではないか

第二十一話 Archenemy and Hero 21st chapter

『ありがとう』そう言われたでござる

主人に手を上げるとは
躾がなってないぞ雌犬め
まおー様は…
私の主は！
魔王なんかじゃ…
ない！

上鉄雄渓地みか
「技」とはすごいな
チッ
まおー様！

ボボォ ボォ ボボ
まおー様…
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ウウウ
チッ
聞き抜けな呼び方で
我が名を連呼するな！

まおー様は！
賢くて
聡明で
理知的で
合理的で
冷静で
シニカルで！
嫌っていうほど
現実的なのに
はにかんだ笑顔は
かわいらしい我が主
だらしなくて
着替えも洗濯も嫌がって
掃除も料理も
ろくにできない…
私の選んだ
私の運命！

断じて
「魔王」などという
下衆な存在ではない！
手駒になると思い
手加減しておれば
つけ上がりおって…

残念だな
我は無傷で
貴様の腕は…
ほれ
ここだ

まお
？

…ねえ
まおー様？
もう一回だけ
頑張りましょう…？
貴女の願い…
運命は――
あんなに黒くて
もふもふで
温かそうだったじゃ
ありませんか？
何を…？

ここは玄室(げんしつ)!?
貴様(きさま)!

わからんのか！
この体は
我のものだ！
我が魔王なのだ!!
…あいつが
もう一度
出てきたら
私は
死んじゃうの
でしょうね…

けれど
まおー様は
貴女なんかより
——何十倍も強い
何百倍も…
願っている
まおー様…
負けないで…

鉄の国
首都近郊
修道院の建物
洗浄を急げ！
湯を絶やすな！
布は煮沸するでござるよ！
もっと布を！

これは白夜の兵士では…？
白夜の兵士も分け隔てすることなく傷病者の手当をせよ！
鉄腕王の裁可でござる！
傷の具合によって判別用ハンカチを結びつけよ！
軽傷者は野外テントへ搬送
市民に手当をしてもらうでござる
中傷者は修道院内部へ
止血および蒸留酒による消毒を
死ぬ…
もうダメだ…
しゃっきりするでござる！
その傷では死ぬどころか休暇にもならないでござるよ
報告します！

集計が終わりました

我が軍は
死者一八名
負傷者二二一名

白夜軍は
死者三〇四名
負傷者八九二名
捕虜四五〇名

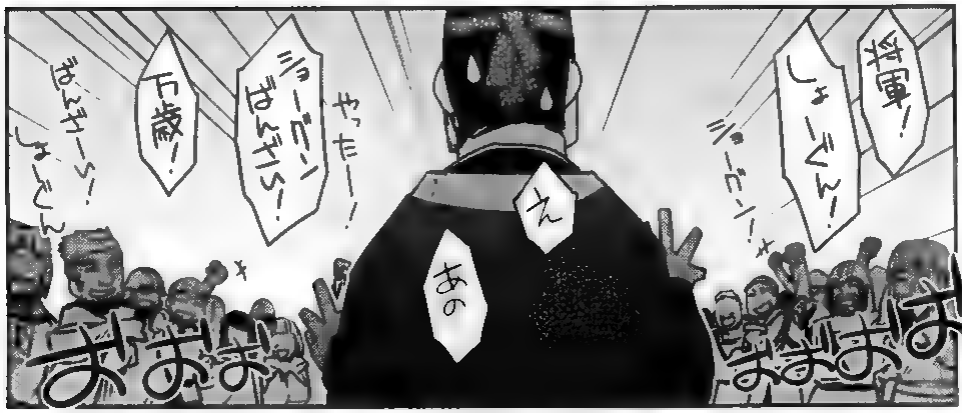
なお 副司令官と思われる遺体は確認されましたが

指揮官と目される片目の男は遺体 および収容者には確認できませんでした

ふむ…

帰っていてくれれば
それはそれで
好都合でござるが…
そういうものですか？
下手に
隠れられるよりも
少ない兵で出直して
きてくれるなら
察知もしやすいで
ござるからな
そういえば
そうですね
ああ
あの人だべ！
将軍だ！
将軍だべ!!
しょぐんさま…？

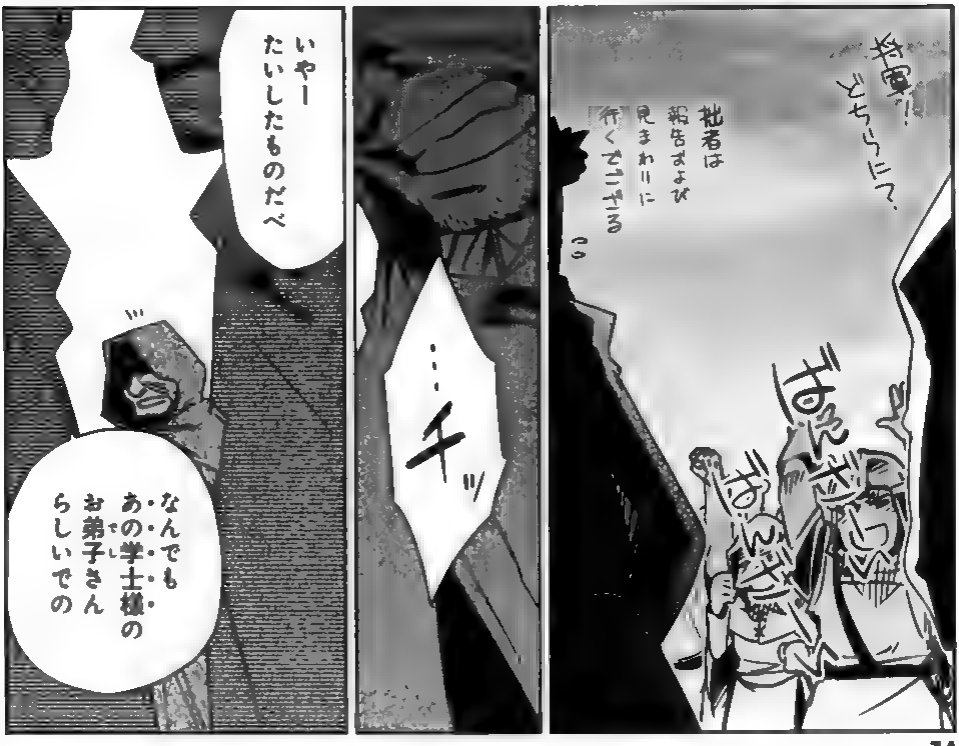
すごいべ！
完璧だったべ！
ざわ
ざわ
はて？
そうや
将軍の命令で 一列に
矢が飛んでいったんだ！
ヒューンってな
ざわ


将軍！
しょーぐん！
ショーグン！
ショーグン！
ばんざーい！
万歳！
やったー！
ばんざーい！
しょーぐん
ん
あの
おおおお
おおおお

ちょっと待つでござるよ
拙者は将軍ではないでござる
ショーグン
ばんざーい！
しょーぐん
たばの御仁
神奈川県 箱根宮ノ下
まぁよいではないですか
しかし 事実違うでござる

あの将軍っていうのは「格好いい」っていう意味なんです
――格好…いい？
民兵のみんなは階級とか わからないですからね
そして 格好いい英雄みたいな将軍に感謝したい時
俺たちみたいな学のない連中は「万歳」って言うしかないんですよ
……そうでござる…か？
ええ「将軍」！
今日の戦いはお見事でした！
俺たちはきっと孫が生まれても語り継ぎますよ
そのためにもまだ続く戦 頑張っていきましょう！

せ 斥候が
心配でござる
まだ行動可能な
体調の者に
食事と休憩を手配
その後 再編成して
巡回部隊を組織
するでござる！
あ…
ハイ！
――ツッ!!


救護！
どちらにて
拙者は
報告および
見まわりに
行くでござる
ぎゅっ
おんぶ
…チッ
いやー
たいしたものだべ
なんでも
あの学士様の
お弟子さん
らしいでの

紅の学士様だか？
あの演説の…！
聖人様だなや！
どうりで将軍も若いのに立派なもんだべ
んだんだ

知っているだか？学士様は今この国にいるだよ
本当だか!?

ありがたいおふれを出すためにいらしているだよ
職人街でお見かけしただ！

ん？
あんた目を怪我してるだか？

大丈夫だか？
手当を――
…ああ
呪く
呪くぞ
光の精霊に
背きし背教者に
この闇をぶちまけて
くれる……！

冬の王宮
謁見の間
……
寝て
いますね
誰なんです？

ぐー…
すぴー
ズズズ…
ぐぅる…

あれは一応
玉座だぞ？
なぜ 少女が
寝込んでいるのだ…
どこから
来たんでしょうね
ガチャ…
若 お茶が
入りましたぞ
気を取り直して
書類など――
あぁあ!?
ズズズ…

紹介しましょう
彼女がかつての勇者と旅した仲間三人のひとり
女魔法使いです
…ぶい

この方も伝説の英雄なのか？
とても そうは見えませんね
ほー
彼女こそパーティの広域殲滅担当
一〇八の呪文を修め
かつては「出来の悪い悪夢」「昼寝魔道士」…などと呼ばれた最強の魔法使いです
…私は「ごきげん殺人事件」っていうのが好き

勇者は
魔界と呼ばれていた
場所へ向かった

勇者とは
会ったんですか？
会った

…やはり
そうか
こちらは
私たちだけで
もたさなければ
なりませんね

まぉ…
紅の学士から
指示を預かって
きてる

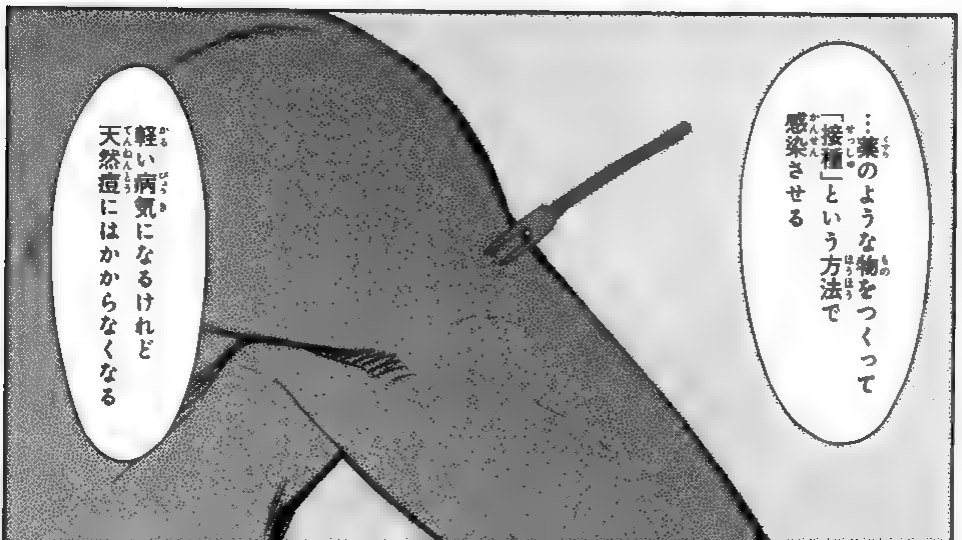
!?
学士様とお知り合い
なのか!?
師匠の…!?

私と学士は
同じ一族
親戚 姉妹？
…学士は
こちらの状況を
知らない
戦争になっていると
思っていなかった
…だから
指示は
かなり無駄
ああ…
…でも
手を打つ
…偶蹄目の動物である
家畜を用いて
その危険性を
弱毒化により
減少させたウイルスを
意図的に患者に
罹患させることにより
近縁種への
排他的抵抗性…
すなわち免疫を
獲得させる予防法
および その
一般への啓蒙と頒布
接種体制を確立させる
!??

もうちょっと
わかりやすく
頼めるだろうか？
天然痘の予防体制を
成立させる
!?
天然痘といえば…
この大陸の悪夢ですぞ!?
年間一〇〇万人とも
三〇〇万人ともいわれる死者を出す
悪魔の病気
患者を出した家は
焼き討ちされるほどの
業病ではないですか！

もし 本当だとすれば
これは全人類にとって
未曾有のニュースに
なりますよ…！
ぼくの
お父さんの弟も
天然痘で死にましたー
うむ
身内を天然痘に
奪われたことのない者など
この大陸には
いないはずですぞ

…治療法ではない
予防法
それにしても
同じくらい意味の
あることだ
どうするのです？


…薬のような物をつくって
「接種」という方法で
感染させる
軽い病気になるけれど
天然痘にはかからなくなる

なるほど
一度かかって
治った患者は
二度と天然痘に
かからないというのと
似ているわけですな
…同じ
仕組みを使う

効果のほどは？
…約七年
ふむ
すばらしい吉報だ
を…
？

三国同盟 および
協力諸国の国民は
ひとり銀貨一枚で
利用できます
――！
そうなったら
いいなー

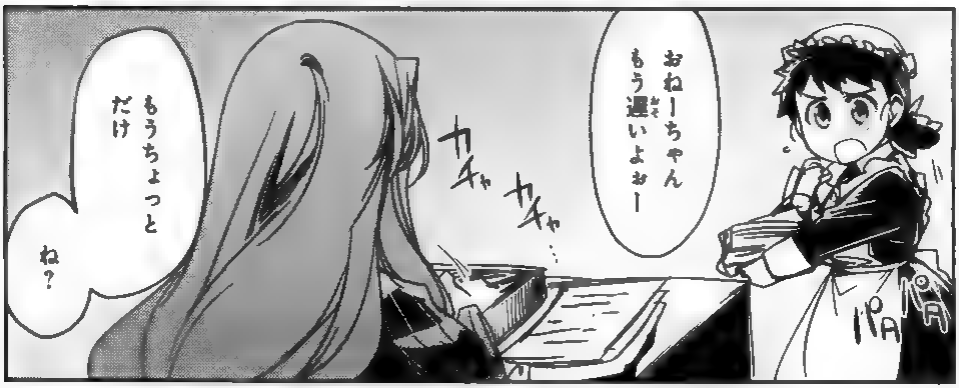
それで
風向きは変わるな
ええ
確実に
停戦に向けた
動きが可能です
すごいやぁ！
…そして 私は
魔族です
…みたいな？
へ？
何の冗談を
言っているんですか
魔法使い
つまり
天然痘の予防方法は
魔族から技術的に
供与された と？
そのように
広めてくれという
ことか？
…おね
がい……

王よ
私からも
お願いします
たしかに魔族は
強大で奇怪な姿を
していますが
言葉をもつ
知的な種族です
進んで
友好関係を築くとか
そういうことじゃ
ないんです
でも 一方的に
精霊の敵
呼ばわりして
こちらから反感を
煽らなくてもよいのでは
ないでしょうか？
もちろん 武力侵攻
してくれれば戦います
そいつらは
敵なんですから
ただ 人間にも
さまざまな国が
あるように
魔族にも
さまざまな国や派閥が
ある可能性があります
魔族を知らないで
このまま
戦ったとしても
勝つことも
おぼつかないのでは
ありませんか？

なぜ…
魔法使い殿は
それを望む？
なぜ
魔族と我らの仲を
取り持とうとする？
…「出来の悪い悪夢」は
飽きた
…眠りには
良い夢が望ましい
確約はできない
だが
しかし
冬寂王の命ある限り
その言葉 胸に留め置き
決して無為なる血が
流されぬように
尽力しよう

…魔族です
本当ですよ
ぐ
ぎゅるるる…
ハハハ
腹ぺこ魔族のようだな！
では 我が城の厨房を襲撃しようではないか
ここにいる全員で襲いかかれば何らかの食事にはありつけよう！

鉄の国
首都
職人街


おねーちゃん
もう遅いよぉー
カチャ
カチャ…
もうちょっと
だけ
ね？

それに この姿の時は
「お姉ちゃん」なんて
呼ばないの
ぶーぶー
もう いいじゃない

だーめ
一応 あの演説を
聞いちゃった人だって
いるんだし
当主様が帰るまでは
この姿でいた方が
少しでもみんなのために
なると思うの

はい
次これでしょ？
あら
よく
わかったわね

…紅の魔女にも
家族がいるのか
背教者が人並みの
家族だと？

その絆もろとも
闇の淵へ沈むがいい

親方にあいさつしてくるねー
ガチャ
だだ誰ですか？
我は栄光ある第二次聖戦遠征軍駐屯司令官だよぉ

お初にお目にかかりますな学士殿
誰です！
我を知っているはずもないのか農奴出身の売女よ
――我はな
お前の死神だよ

まずは跪くがいい
精霊に詫びるのだ
私は精霊様を
信じています
跪くことくらい
なんでもありません
お前のような
下賤な商売女が
精霊様の名を語るな！

赦しを請え！
己の罪を告白し
恥辱に涙を流せ！
…なんの
ことです
この暗い倉庫の中が
貴様の懺悔室だと
いうことだ
そこに赦しは
ないがなぁ!!

何者(なにもの)だ!?
ただの軍人(ぐんじん)でござるよ

見れば青二才ではないか！
我は聖鍵軍司令官ぞ！
貴様などとはくぐり抜けてきた地獄と苦痛が違うわぁ!!

実力の差もあるが…
後ろの姉妹を庇いながら戦って我に勝てるつもりか？
命乞いをするがいい！
決して敵さんがな!!

相手と自分の
短所と長所を
冷静に比較しろ
戦争も剣戟も
一緒だ
冷静になれ
相手の
長所を潰して
短所を攻めろ
お前の長所は
何だ？
――常に考えろ
…確かに

拙者は長所のない
男でござるから
昨日ならば
勝てなかったで
ござろうね

もらった!!

手応えあった！
「ありがとう」
そう言われたでござるよ
——「守ってくれてありがとう」と
民間人を守る軍人にとってこれほどの誉れが他にあると？
拙者の覚悟は今日定まり申した
長所などそれひとつで十分でござる！
それだけで拙者は命が果てるまで戦えるでござる!!

お前は…すべてを救うことができるとでも……
思っている…のか？
いつか…その傲慢を復権する日…が――
そんなことは
「そんなことは百も承知」でござる

拙者たちが
剣士殿や女騎士殿に
授かってきたものは
「それでも
戦場に立つ術」
なのでござる！
ふぃ～
子弟さん…
軍人のお兄ちゃん
すごい血だよぉ
たいしたケガでは
ござらんよ

左腕を縛るわよ
うん！
あの…
助けていただいてありがとうございます
ありがとうお兄ちゃん！
どういたしましてでござる！

北部草原
中央軍
天幕陣地
くそ！
なんだ これは!?
また 豆の薄いスープ！
それに黒くなったパンの欠片！
こんな薄い粥で汁じゃ戦なんかしてられねぇ!!

貴族のテントじゃ毎晩のように饗宴だっていうじゃねぇか!!
…これは聞いた話だが
今回の遠征軍資金はたっぷりとあるが食糧はほとんど持ってきていないらしいぜ
…!?
なん…だと…?
貴族の連中は正気なのか!?
じゃあすぐにでも敵陣に襲いかからねぇと
いや数日前から馬の調子が優れないらしい
貴族の連中はそんな理由で戦いを渋ってるのか!?
オジキぃ!
なら俺たちで連中のケツに火をつけてやろうじゃねぇか

なぁに
簡単なこった！
サッと攻めて
サッと引き上げる
敵のヤツらが
追いかけてきたら
貴族の連中も
巻き込んでやれ！
そうすりゃ
乱戦だ！

これだけの
人数差
俺たちが
負けるわけはねぇ！

北部草原
王か国軍
天幕
将軍！
女騎士様!!
敵軍に動きあり！

なんだって!?
会戦日の指定は
まだ決着して
いないぞ!?
そ それが
一部の傭兵団のみが
移動しているのです
どうやら独断で
兵を進めている模様
彼らは
味方にも隠密で
行動している様子
バカな!
やつら
戦のルールも
わからんのか!?
ルールなど
あってないような
ものだ
彼らの判断は
なにも間違って
いないさ

いかが
いたしましょう!?
我が軍も早急に
陣備えを変更
三重連隊で
防御の陣を
敷き――…
不要!
しかし
この戦では
防御に徹せよ と
大局を見ろ

確かに傭兵どもは
中央の考える教会と
騎士道の規律を破り
戦を仕掛けてきた
あとで なんらかの
処罰があるかも
しれないが
彼らにも理由が
――おそらく食糧の
不安があるのだろう

しかし
その傭兵団との
戦いが長引けば
救援という名目を
中央の軍二万に
与えることになる

冬の国の騎士に通達！
ただちに第一種軍装にて会戦用意！
は！
無駄なものはいらぬ速度をとれ！
用意のある騎士のみ率いて私はすぐに出る
ガシャ
無茶です！
それでは二〇〇も揃いません！
敵だって傭兵団のみだろう？
であるなら騎馬戦力は千がいいところだ
ガシ

終 第二十一話
「ありがとう」そう言われたでござる

第二十回

戦場での医療とその必要性

戦場での医療行為には、戦力の低下と人的資源の損失を抑制するというふたつの目的があった。

野戦病院は修道院や教会といった建物の内部に設置されることが多かった。

戦場医療が必要とされる理由

当然のことだが、戦争をすれば死傷者が発生する。さらに、不慣れな地域に遠征する場合には凍傷や伝染病にも注意する必要があり、戦争と医療は切っても切れない関係にある。

戦場での医療は、負傷した兵士に手当を施すことで、可能な限り早く戦線に復帰させ、戦力の低下を抑える目的がある。また、古い時代には農民が徴兵されて戦線に加わるケースも多く、医療が未発達で乳幼児の死亡率が高かったこともあり、人的資源の損失を抑える意味でも戦場医療は重要だったと言える。

実際、数十万の兵力を擁していた古代ローマでは、負傷者の手当てをする軍医と、その助手をつとめる衛生兵がすでに存在しており、壁面のレリーフなどにもその姿が刻まれている。

衛生兵が行なう仕事とは？

一般に戦場医療と聞いて、まず思い浮かべるのは「衛生兵」だろう。現代の国際法では、医師や歯科医、看護師など、軍隊に随行する医療関係者全般を指している。

衛生兵は、兵士に随行して前線で行動する者と、医師の資格をもち後方の野戦病院で待機している者のふたつに分けられる。前者は負傷者に応急処置を施し、野戦病院に搬送することが主な任務。大抵は止血や鎮痛剤を投与する程度の処置しか行わないため、普通の兵士に訓練を施して衛生兵とすることも多い。野戦病院で負傷者に治療を施すのは後者だが、長期療養が必要な者については、民間の医療機関に預ける場合もある。

また、治療だけでなく、衛生管理も衛生兵の重要な任務だ。多くの人間が一か所に集まる戦場は不衛生になりがちで、近代以前の戦争では、戦いで受けた傷よりも発生した病気で死亡する者の方が多かった。こうした状況を改善するきっかけとなったのが、野戦病院の環境改善に尽力したナイチンゲールである。

なお、第22話で重傷度によってハンカチを巻いていたのは、救命の順序を決めて医療処置の効率を高めるためのもの。これは「トリアージ」と呼ばれるもので、傷病者の数に比べて治療者の数が少ない軍隊や災害医療などで、今でも実際に使用されている方法だ。

治療の優先順を決めるトリアージは、傷病者に比べて治療者が少ない野戦病院で生まれた。

隠し芸…？

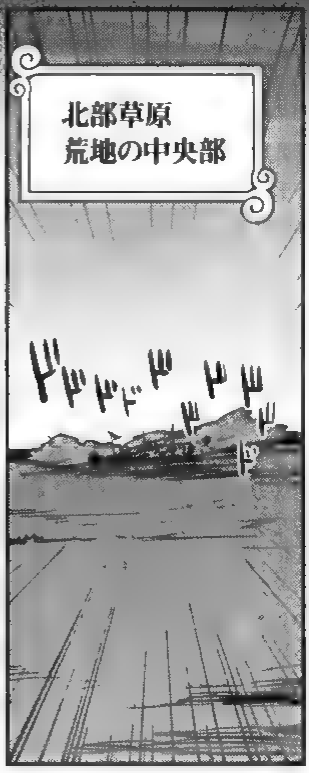
雪…
雪はご存じですか？
ええ
ゲート付近では目にします
寒いでしょう
早く宿屋へ
こちらの酒もなかなかいけますよ
おお
それは楽しみです。

まおゆう
魔王勇者
第二十三話

あ、あれっ
私がここにいるの～
体が起きて　？
!!

第二十二話 Anticipation and Hope 22nd chapter

待たせたな――私の勇者



いくぞ！
このダラダラした戦に
俺たちの手できっかけを与えてやるぜ！
あれは
…なんだ？
ドド
ドドド

なんだ!?
こ こいつら
どこから現われた!?

な なんて
速度だ！
!?
どこにいった!?
後ろにいるぞ！
いや
右だ！
どこだ
見えない！
第二突撃
突っ込めぇ！
姫将軍に
勝利を！
わあああああ

ギャアア!!
なんて突破力だ!
バカ野郎!
相手は少数だ!
おおお
おおお
取り囲め!
広がって
抑えちまえ!!
離脱!
陣形直せ!
ただちに
第三陣形用意!
退け!
姫将軍から
退却命令だ!

追えっ！
見たところ相手は三〇〇がいいとこだ！
追いつけばひとひねりにできるぞ！

クソッ！馬の足が鈍くなければ…

よし
ちゃんとついてきたな
第三幾形！
!?

二手に分かれた…？

お前は右を追え！
俺は左を追う！
はっ！

ただでさえ少ない兵を分けるだと？
何を考えてやがる
ど
どちらを追えば…？

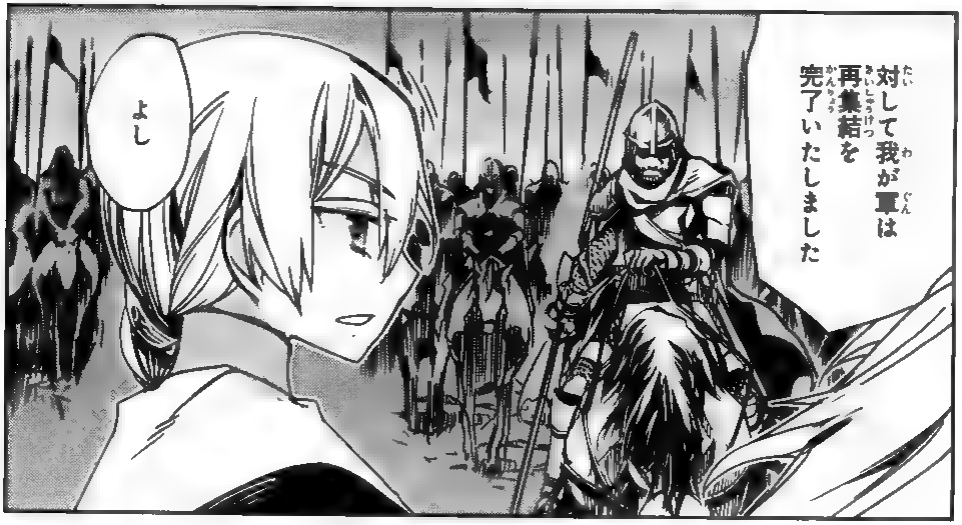
ふむ
追ってくるか
やはり
馬が本調子では
ないようですな
こちらを追うのが
精一杯の様子
そろそろ
いくぞ！
了解！

なっ!?
また二手に!?
ど
どうする
叔父貴！

ナメるな
もう数えるほど
じゃねぇか！
再分割だ！
俺は右を追う！
お前たちは左の
森へ向かう方を追え！
女どもに
バカにされて
たまるかぁ!!

北部草原
荒地
十六番集合地点
何番隊だ？
八番隊です！
ただ今
集合しました！

敵はどうだ？
ハッ
こちらの部隊分割につられて多くが迷走しています
かなりの範囲に広がっているかと


対して我が軍は再集結を完了いたしました
よし

諸君！
どうだ
疲れたか!?
我ら まだ
意気軒昂！
おおおお

そんな…
そのような軽装で万が一があっては…
せめて騎士団の中央に
我らにお任せを！

心配は無用だ
だが
そう思うなら戦果を挙げよ！

今度は倒す
必要はない
できるだけ
落馬させよ！
敵を殺すのは
本意ではない！
彼らもまた
精霊の教え子！
今ひと時は
対峙しているが
我らが同胞だ
落馬させて
戦意を奪えば
それで十分

やむを得ない
時を除いて
なるべく殺さぬよう
あぁ…
倒してしまうと
私が勇者に…いや
とにかく
落とせ！
はっ！

敵の数は多いが
いまや散開に次ぐ
散開を繰り返し
ひとつひとつの
部隊の人数は
我ら以下
一気に襲いかかり
突進力で落馬させ
残った相手は
小刻みに移動しながら
叩き落とせ！
ゆくぞ！

…ん？
来てくれたか
援軍ですか？
ああ

雪だ

中央軍
本陣天幕
そうか
雪が…
我が軍の
食料不足からくる
士気の低さ
軍馬の
体調不良
それに
この雪…
これは…
退かざるを
得んな
これほどの軍を
動かして
成果なしとは…
やむを得ない…
だろう
ここで兵を
消耗するわけ
にもいかぬ

後背を突くはずのヤツらも失敗したようだしな
なにか申されましたか？
いや
――それに
成果なし――というわけでもない
ガ
ガ

三か国軍
本陣天幕
中央軍が
退いていきます
おお…
おおっ…
女騎士様
は…？
突出した傭兵軍と
連動する動きは
ありません

ガカッ
カカッ
中央軍から
通達…
戦を春以降まで
延期するとの
ことです！

おおおおおおおお

とりあえずは
しのいだか…
ばんざーい
魔王さまー
各将軍！
魔王城

あ……
よう
メイド長
待たせたな

!!
その腕は…
これは…
ここか…

む
無茶です！
この中は魔王しか入れない玄室！
歴代魔王の残留思念が渦巻いているんですよ!?

無茶を通せない
勇者なんて――
存在する意味があるかぁ!!!

魔王!!

――勇者（ユウシャ）

なんだってんだ!?
昔の魔王の悪霊に取り憑かれちゃいかけてるんです！
中身が別物というか…

ああ
そういうことか
チャキッ
理解…
した!!

これが…
「魔王」と「勇者」の戦い――!!

パキ…
パキ…
ゴオオオオ
バチ
バチ
ガッ…

正気に
戻りやがれ
魔王！
――クク

我は正気だぞ？

我は正しく魔王なのだ
今までの中途半端なできそこないと一緒にされては困るな
うるせぇ
過去の亡霊のくせして
しかし貴様もなかなかのもの
歴代勇者のなかでも素晴らしい力をもっておる…

我らには
勝てぬぞ

貴様を殺すのは容易いが…
その力
ただ散らすのは惜しい――
この我のものとなれ
勇者
断る！

我と共に来れば
貴様にはこの世の半…
断る!!

残念だ
勇者よ

ピピピピピピピピ
ギギギギギギ
ボボボボボボボボ
ゴォ
シャキ…

いいか
よく聞け
時代遅れの
ポンコツ魔王！
なにが半分だよ
この詐欺師！

そもそも
お前のものでも
ないくせに…
勝手に譲渡
しようなんて
片腹痛いんだよ!!

そういう
誠意のない
態度で
勇者を
口説けると
思ったら
大間違いだ！

そんな
化石化した
台詞はな…
「今どきの魔王が
言っちゃいけない
台詞集」にも
ばっちり収録
されてるんだよ！

それになな！
!?
——なにをッ
カッ
ガッ

コレは以前から俺に売約済みなんだ
俺のものなんだ
契約をしたんだよ
…ちょっと痛いけど我慢しろよ

!!!

あアアア

そうだよな!?
おい
聞いてるのか!?
魔王!
パリ
パリ
——何ヲ
——いッテ
まおー様!
——フザけル…ナ…
我は…
魔…オウ…
魔界ヲ…統べ……
ニンゲんヲ…滅ボス…
シュウウウ…
黙れ

黙れ
魔王どもめ…
魔王！
まおー様！
わしゃ…
体がしびれる…
それに……
せっかくの…
髪が…チリチリ
しているぞ…？
これでは
甘やかな再会が
台無しではないか
甘いも
なにもあるか

待たせたな
——私の勇者
寝坊しすぎだぞ
——俺の魔王

ただいま
おかえり

第二十一回

見えざる敵との人類の戦い

古来から猛威を振るい人々を苦しめてきた天然痘。その脅威と予防法から生まれた予防接種について見ていこう。

「まおゆう」の世界でも、天然痘はおびただしい死者を出す恐るべき病気のようだ。

古くから恐れられていた天然痘の脅威

古来から人類を脅かし、世界各地で膨大な数の人々がその犠牲となってきた「伝染病」。なかでも古くから存在が知られ、世界中で恐れられていたのが「天然痘」だ。

天然痘は感染力が非常に強く、保菌者との直接的な接触だけでなく、保菌者の咳やくしゃみから天然痘ウイルスに接触することでも広がっていく。感染すると、一週間から半月ほどして発症。40度近い高熱が出るのをはじめ、頭痛や腹痛といった初期症状が現われたのち、いったん熱が下がり体全体に発疹が現われ、その後ふたたび高熱を発して死に至る。

天然痘がどこで誕生したのかは不明だが、最古の記録としては紀元前1350年のものがあり、紀元前1100年代に没したエジプトのラムセス5世は、発見されたミイラから天然痘で死亡したと考えられている。

古くから存在した天然痘は、世界中で何度も流行してきた。感染者の約3割が死亡すると言われ、1770年にインドで流行した際には、なんと300万もの人々が犠牲となっている。また、新大陸には白人によってウイルスが持ち込まれ、免疫をまったくもたない先住民族に甚大な被害をもたらした。20世紀中だけでも全世界で5億人もの人々が犠牲になったといわれており、天然痘がいかに恐ろしいものだったのかがうかがえる。

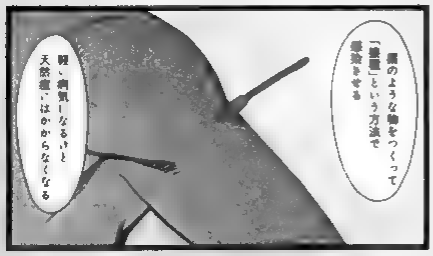
天然痘撲滅に貢献したワクチン

世界中で猛威を振るった天然痘は、世界保健機関（WHO）を中心とした世界的な対策により、1980年に撲滅宣言が出された。そのきっかけとなったのが「種痘」と呼ばれるワクチンだ。

天然痘は人間がかかる病気だが、これとよく似たウイルスによって感染する牛痘という病気がある。牛痘は牛と接することで人間にも感染するが、天然痘よりもはるかに安全。しかも、牛痘にかかった者は天然痘に感染しないと知られてきた。

種痘は、この点に着目したイギリスの医師によって開発され、これが世界中に広まって天然痘は撲滅されることになった。

そして、毒性が弱いウイルスを用いて免疫を得る種痘を例に、さまざまな予防接種が誕生したのである。



女魔法使いがもたらした天然痘の予防法は、実際に行なわれていた種痘と同じものだ。

本当にここで間違いないんだな？
はい！
魔界への転送陣…「ゲート」があるはずの場所です
じゃあ…
ゴゴゴゴ
ゴォォォ…

この大穴はいったいなんなんだ…？
ドドドドド
こりゃあ…
思ってたよりも大変な商売になりそうだぜ

巻末付録 Archenemy and Hero Special appendix

イラストギャラリー

Kadokawa Comics A

角川コミックス・エース

まおゆう魔王勇者

「この我のものとなれ、勇者よ」「断る！」⑥

漫画 石田あきら　原作 橙乃ままれ　キャラクター原案 水玉螢之丞・toi8

2013年2月26日初版発行

発行者
井上伸一郎

発行　株式会社角川書店
〒102-8078 東京都千代田区富士見2-13-3　電話／(03)3238-8719(編集)
発売　株式会社角川グループパブリッシング
〒102-8177 東京都千代田区富士見2-13-3　電話／(03)3238-8521(営業)
http://www.kadokawa.co.jp

装幀・デザイン
沼利光(D式Graphics)

印刷 共同印刷株式会社　製本 共同印刷株式会社

初出／『月刊コンプエース』'13年1月号～3月号

本書の無断複製（コピー、スキャン、デジタル化等）並びに無断複製物の譲渡及び配信は、著作権法上での例外を除き禁じられています。また、本書を代行業者等の第三者に依頼して複製する行為は、たとえ個人や家庭内での利用であっても一切認められておりません。
落丁・乱丁本は、ご面倒でも角川グループ受注センター読者係宛にお送りください。送料は小社負担でお取り替えいたします。
この物語はフィクションであり、実在の人物・団体名とは関係がございません。

2013 KADOKAWA SHOTEN, Printed in Japan

©Akira ISHIDA 2013
©2011 Touno Mamare／PUBLISHED BY ENTERBRAIN,INC.
ISBN978-4-04-120577-8 C0979